

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

テーマ 今こそ重荷を負い合う世界を目指す

7月31日

第5聖日

第3466号

聖
言

「御霊のために種を蒔け」

自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。ガラテヤ人への手紙6章8節

主の弟子となる⑭

第二課 バプテスマ——次のステップ
バプテスマは不可欠です。なぜなら、バプテスマによって、イエス・キリストというお方とそのみ業とに信頼する決断が強められ、公に、信者から成るキリストの共同体の一員と認められるからです。こうして、新しい回心者は地区教会に受け入れられました。(地区教会については、このシリーズの次の冊子「家族の家族に属する」で取り上げます。イエス・キリストの弟子となるということは、あまず第一にイエス・キリストのご人格とみわざ、すなわち福音を信じることであり、公にバプテスマを受けることにより、イエスご自身とその教えと一つにされ、信仰共同体の一員となり、最後に、イエスが弟子たちに教えた教えを受けることです。

鍵となる引用を読んで考えてみましょう。

「まず、信じた者たちはバプテスマを受けて教会に加えられました。教会が誕生したその日、「彼(ペテロ)のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。」(使徒二ノ四一)とあります。ルカが印象だけでもの言っていたのなら別ですが、当然誰かが実際に、この時新しくクリスチャンになった人の数を数えていたはずで、顔も名前も覚えられ、誰かが世話役を務め、バプテスマが授けられ、教会に加えられました。悔い改めと信仰だけでは不十分でした。イエスご自身が始められた入会の儀式を経る必要があります。彼らはバプテスマを受けました。

(C-I-B-T-E主の弟子より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp